

花嫁の義

聖書：啓 19:7-9. マタイ 5:20. 6:33. 22:2. II コリント 5:21. I ヨハネ 1:7, 9. 啓 15:3

I. 神の義とは、神が彼の公正と義なる行ないにおいて何であるかです——啓 15:3.

ローマ 1:16 後半-17 前半. ヨハネ 3:16. I ヨハネ 1:9 :

- A. わたしたちのキリストに対する経験は、神の義の土台にかかっています。
- B. この土台は、神の義、すなわち、神の御座の揺り動かされない土台です——詩 89:14。

II. 義には四つの面の定義があります :

- A. 義は、神の義なる厳格な要求にしたがって、神の御前で、人、事、物に対して正しくあることです——マタイ 5:20。
- B. 義は、その霊としてわたしたちの中に生きるキリストの外側の表現です——II コリント 3:8-9 :
 - 1. これは神のかたちとしての義です——エペソ 4:24. コロサイ 3:10。
 - 2. 義の務めは、主のかたちの務めです——II コリント 3:9。
- C. 義は神の王国の事柄です——マタイ 6:33. 詩 89:14 :
 - 1. 神の王国は義です。
 - 2. 義は神の統治、行政、支配と関係があります。
- D. 義はわたしたちの存在において神に対して正しいという事柄です——II コリント 5:21 :
 - 1. わたしたちの存在において神に対して正しいとは、内なる存在が透き通っており、水晶のように透明であること、すなわち、内なる存在が神の思いとみこころの中にあることです。
 - 2. これは、わたしたちがキリストの中で神の義となるという事柄です——21 節。

III. 義は神の外側の行ない、方法、行為、活動と関係があります——啓 15:3 :

- A. 神が行なうあらゆることは義です——ローマ 1:16-17。
- B. 神が彼の公正と義において何であるかが、彼の義を構成します。

IV. 神は彼の御子イエスの血において義です——I ヨハネ 1:7, 9 :

- A. 神はご自身の言葉において信実であり (10 節)、彼の御子イエスの血において義です。
- B. 彼の言葉は彼の福音の真理の言であって (エペソ 1:13)、それは彼がキリストのゆえにわたしたちの罪を赦すと告げています (使徒 10:43)。キリストの血は彼の義なる要求を満たしました。それは彼がわたしたちの罪を赦すためです (マタイ 26:28)。

- C. わたしたちを赦すことは、わたしたちの罪の違犯からわたしたちを解放することであり、わたしたちを清めることは、わたしたちの不義の汚れからわたしたちを洗うことです。

V. 義は神の王国と関係があります——ローマ 14:17 :

- A. 召会生活は神の王国であり、神の王国は義です。
- B. 神の御座は、土台としての義をもって確立されています——詩 89:14。
- C. 神の義がある所に、神の王国もあります——イザヤ 32:1. ヘブル 1:8-9。
- D. 旧約において、義はしばしば王国と同義語です。
- E. 義がある所では、あらゆるものは正しい方法でかしらにつり上げられます。これが王国です。
- F. 義はまず神のかたちという結果になります。義は次に神の王国を確立します :
1. ローマ第 8 章には義と神のかたちがあります。
 2. ローマ第 14 章には義と神の王国があります。
 3. かたちと王国はいずれも義に基づいています。
- G. 義が新しい天と新しい地に住む（Ⅱペテロ 3:13）と言うことが意味するのは、あらゆるものが秩序の中にあり、かしらにつり上げられ、規制されるということです :
1. あらゆるものが統治され、制御され、正当な支配の下にあるようになります。なぜなら、神の御座、王国、神聖な行政がそこにあるからです。
 2. その結果は平和と喜びです。

VI. 啓示録第 19 章 7 節から 8 節で、わたしたちは花嫁の義を見ます :

- A. キリストが信者にとって義であることには二つの面があります :
1. 第一の面の信者たちの義としてのキリストは、彼らが神に対して悔い改めてキリストの中へと信じる時、彼らを神の御前で客観的に義とします——ローマ 3:24-26. 使徒 13:39. ガラテヤ 3:24 後半, 27。
 2. 第二の面の信者たちの義としてのキリストは、神の現れとして信者たちから生かし出されます。この神はキリストの中で信者たちに与えられた義であり、神によって彼らが主観的に義とされるようにします——ローマ 4:25. Ⅰペテロ 2:24 前半. ヤコブ 2:24. マタイ 5:20. 啓 19:8。
 3. キリストはわたしたちの客観的な義として、わたしたちが彼の中で神によって義とされるようにします——ローマ 3:24, 28. 4:25. 5:1, 9, 16, 18。
 4. キリストはわたしたちの主観的な義として、わたしたちの中に住んで、わたしたちのために、神によって義とされることができる生活、また常に神に受け入れられる生活をする方です——マタイ 5:6, 20。
- B. キリストは聖徒たちの主観的な義として彼らから生かし出され、彼らの婚宴の礼服となります——啓 19:8 :

1. わたしたちが救いのために受けた義は客観的であり、わたしたちが義なる神の要求を満たすことができるようにしますが、勝利を得た聖徒たちの義は主観的であり、彼らが勝利を得たキリストの要求を満たすことができるようにします—— I コリント 1:30. ピリピ 3:9。
 2. マタイ第 22 章 11 節から 12 節の婚宴の礼服が表徴するのは、日常生活において、わたしたちが生かし出すキリスト、わたしたちを通して表現されるキリストが、わたしたちの超越した義となることです——5:20. 啓 3:4-5, 18。
- C. 主の花嫁、彼の妻は「用意を整えた……彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である」——19:7 後半-8 :
1. 啓示録第 19 章 8 節は衣と義を明確に結び付けています。
 2. 8 節の「義」という言葉は複数であり、「義なる行ない」と訳すことができます。
 3. これらの義なる行ないは、わたしたちが救いのために受けた、わたしたちの義としてのキリストを指しているものではありません—— I コリント 1:30。
 4. 細糸の亜麻布は、わたしたちの勝利を得る命、わたしたちの勝利を得る生活を示しています。
 5. 細糸の亜麻布は、わたしたちの存在から生かし出されるキリストです。
- D. 「小羊の婚宴に招かれている者〔勝利を得る聖徒たち〕は幸いである」——啓 19:9 :
1. ここの小羊の婚宴は、マタイ第 22 章 2 節における婚宴です。
 2. キリストの婚宴に招かれるのは幸いです。
 3. 小羊の婚宴に招かれている勝利を得た信者たちは、小羊の花嫁でもあります——啓 19:7。